

会社概要

2011年9月



J Flag Investment Co.,Ltd.

設立の経緯

2008年10月～11月

リーマンショックによる市場の崩壊を投資機会と認識
中小型株式への投資を徐々に拡大

社内の投資規制強化により運用の自由度が低下
本来目指す運用が実現困難に



2009年3月 JPモルガン・アセット・マネジメント退職と起業を決意



2009年5月 J Flag インベストメント設立
主に国内外の機関投資家を対象
マイクロ・スモールキャップ運用に注力
絶対収益指向の運用
経験豊富な専門家集団

会社概要

J Flagインベストメント株式会社



代表者名： 小瀬澤 央

事業目的： 投資助言・代理業

主要株主： 小瀬澤 央

金融商品取引業者登録番号： (金商)第2218号

登録日： 2009年6月17日

社団法人 日本証券投資顧問業協会 加入

所在地：東京都中央区日本橋茅場町1-6-17十字屋ビル7階

TEL：03-3666-0974

FAX：03-3666-0975

E-mail：k.inokoshi@jflag-investment.com

マネジメントチーム

小瀬澤 央

CEO & CIO

JF: 8年

シニアポートフォリオ
マネジャー

MD

猪越 耕史

マーケティング
クライアントサービス

JF: 9年

機関投資家営業

VP

引間 雅史

内部管理

小瀬澤 央 (CEO & CIO)

＜略歴＞

- 1987年 和光証券入社
1988年 同社 国際部、トレーダー
1991年 同社 ニューヨーク支店
米国機関投資家向日本株セールス
1994年 同社 ニューヨーク支店 国際部、アナリスト
1997年 新和光投信、ファンドマネジャー
日本株式ファンド運用
2001年 JPモルガン・フレミング・アセット・マネジメント
(現JPモルガン・アセット・マネジメント)
JFジャパン・ポートフォリオ・グループ
シニア・ポートフォリオ・マネジャー
2009年 JPモルガン・アセット・マネジメント 退職
2009年 J Flagインベストメント 代表取締役 (CEO兼CIO)



＜主な受賞暦＞ 下記は投資信託商品「JFザ・ジャパン」の受賞実績

- モーニングスター・アワード「ファンド・オブ・ザ・イヤー2002」最優秀ファンド賞を受賞
モーニングスター・アワード「ファンド・オブ・ザ・イヤー2003」優秀ファンド賞を受賞
「リッパー ファンドアワード ジャパン2005」Equity Japan分類: 最優秀ファンド受賞

投資哲学 & 運用スタイル

投資哲学

市場は非効率的だと考える

企業調査(ボトムアップ)により、将来の企業価値の探究を行う

また、より高い収益の獲得の為には、トップダウンアプローチ(マクロ、業種)が必要不可欠であると考え

運用スタイル: Growth At Reasonable Price

ポートフォリオ: ボトムアップ & トップダウン

リスクコントロール: VAR, トラッキングエラー

特徴: 「中長期保有」と「機動的な売買」のコンビネーション

投資信託「JFザ・ジャパン」 (JPモルガンAM時代)



市場の停滞期に受賞

2002年
「モーニングスターファンド・オブ・ザ・イヤー2002」
最優秀ファンド賞(ルーキーファンド部門)を受賞

(主な受賞理由)企業訪問を重視した徹底したボトムアップアプローチによって、特に中小型株への投資戦略が好結果を生んでいる点が高く評価された。

2003年
「モーニングスターファンド・オブ・ザ・イヤー2003」
優秀ファンド賞(国内投資型部門)を受賞

(主な受賞理由)割安感のある小型株への投資を年初からいち早く増加させたこと、円高進行の前に国際優良株のウェイトを引き下げたことなど、チーム運用の中にファンド・マネジャーの裁量を活かした機動的なアクティブ運用が効果を発揮したものと評価された。



市場の活況時に受賞

2005年
「リップパー ファンドアワード ジャパン2005」
Equity Japan分類:最優秀ファンド受賞*

(主な受賞理由)東証1部株式の投資配分を低めるなど、積極的な運用を行い、特に相場の上昇局面で大きな超過収益を獲得した。

また、リスクで見てもリップパー分類内で上位(リスクが低い方)に位置している。



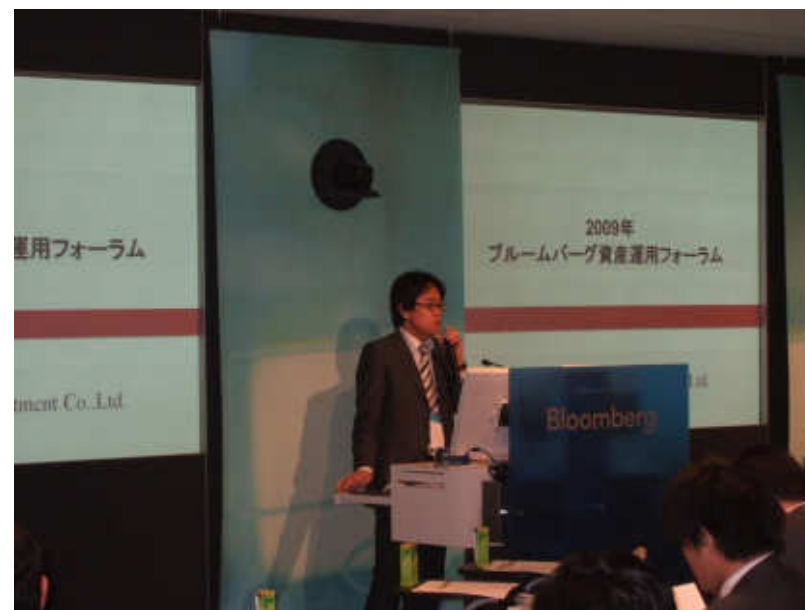
Bloomberg 中小型株フォーラム

2005年 JPモルガン 太田
レオスキャピタルワークス 藤野
ソシエテジェネラル 大間知
インベスコ 得能
メリルリンチ 立田
フランクラッセル 櫻田

2006年 JPモルガン 太田
レオスキャピタルワークス 藤野
ソシエテジェネラル 大間知
ブラックロック 立田
ドイッチェ 越智
フランクラッセル 喜多

2009年 J Flagインベストメント 小瀬澤
レオスキャピタルワークス 藤野
ソシエテジェネラル 大間知
ルーパスアルファ 秋山
ヴァレックス 安
大和ファンドコンサルティング 飛田

(敬称略)



元JPモルガン小瀬澤氏、海外投資家向けの中小型株ファンド助言へ

2月5日(ブルームバーグ):JPモルガン出身の[小瀬澤央](#)氏率いるJFlagインベストメントは、日本株に投資する海外投資家向け新ファンドへの運用助言サービスを4月にも始める。割安のままとなっている中小型株などに焦点を当てた投資戦略を助言する。

同社のシンプレクス・JFlagアブソリュート・リターン・ファンドの運用収益は2009年7月から10年1月まででプラス8.5%と同期間のジャスダック[指数](#)を倍近く上回った。現在の運用額は10億円。大型株をショート(売り持ち)しながら、時価総額300億円以下の中小型株を中心に運用している。

小瀬澤社長(45)によると、今後、新たに運用助言を始める海外投資家向けファンドにも同様の戦略を適用する方針。「流動性が低下して割安に放置された中小型株を逆張りする戦略」という。ファンド規模は2ファンド合計で最大100億円を目指すとしている。

運用方針として小瀬澤氏は、投資テーマは設定せず売り上げや利益が伸びている企業の株式に投資する考えだ。過去の運用では太陽光発電装置の設置を手掛ける[ウエストホールディングス株](#)や[JPホールディングス株](#)のロングが運用収益に寄与。ショートでは昨夏以降の[野村ホールディングス](#)や[NEC](#)などの大型増資銘柄への投資が功を奏したという。

小瀬澤氏は09年5月までJPモルガン・アセット・マネジメントで中小型株を中心に株式運用を担当。それ以前の新光投信時代では1年間に1万円の元本を上回る配当を出した。リーマンショック後に独立して自ら助言会社を設立したのも逆張りの発想とし、「株安で資金集めは苦勞するだろうが、運用結果を出すにはチャンス」と語った。

略 歴

(マネジメントチーム)

猪越 耕史 (マーケティング & クライアントサービス)

<略歴>

- 1990年 日興証券 入社
- 1995年 日興国際投資顧問 年金企画部
(現、日興アセット・マネジメント)
- 1998年 ジャーデン・フレミング投信投資顧問
年金営業部 バイスプレジデント
年金基金、共済組合、運用コンサルタントを担当
- (合併により、社名変更)
- 2000年 JPモルガン・アセット・マネジメント
機関投資家営業部 バイスプレジデント
- 2007年 T-Model インベストメント 取締役
- 2009年 J Flag インベストメント 取締役



引間 雅史(内部管理)

- 1979年 三菱銀行 入社
- 1983年 日興国際投資顧問
(現、日興アセット・マネジメント)
- IT運用部開発課課長、国際企画部長
開発運用部長、開発運用部長兼国際企画部長
取締役 海外部門担当兼国際企画部長
- 1999年 日興アセット・マネジメント
代表取締役社長
- 2005年 アライアンス・キャピタル・アセット・マネジメント
(現アライアンス・バーンスタイン株式会社)
代表取締役社長
- 2007年 シンプレクス・アセット・マネジメント 取締役
- 2009年 上智大学 特任教授、財務局顧問
- 2011年 J Flag インベストメント 取締役(兼務)



問い合わせ先

(J Flagインベストメントが投資助言を行うファンドに関する問い合わせ)

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6515

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング15階

マーケティング部長 福田 真敬

TEL 03-5208-5235

E-Mail mfukuda@simplexasset.com

(J Flagインベストメントに関する問い合わせ)

J Flagインベストメント株式会社

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町1-6-17 十字屋ビル7階

猪越 耕史

TEL 03-3666-0974

E-Mail k.inokoshi@jflag-investment.com

-
- ■当資料は、投資家の皆様に、当社が投資助言しています「シンプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定／年金向け)」または、「シンプレクス・J Flag マイクロ・スモールキャップ・ファンド(適格機関投資家限定／年金向け)」(以下「当ファンド」といいます。)のコンセプトおよびその主要投資対象に対してご理解を高めていただくために作成した資料であり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。
 - ■当資料は、当ファンドの設定を委託会社が保証するものではありませんので、ご注意ください。ただし、当資料中の説明は、当ファンドを設定すると仮定して記述されています。
 - ■当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。
 - ■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものです。また、当資料に示された見解は、当資料作成時点における弊社の判断によるものです。
 - ■当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境等の変動を保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 - ■当ファンドを設定すると仮定して、投資信託の基準価額は、投資信託財産に組入れられている有価証券等の特性による値動きにより影響や又、為替相場の変動等の影響を受ける可能性があります。これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。従いまして、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。
 - ■投資信託は、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外の登録金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
 - ■当資料の内容については、予告なく変更される場合があります。
 - ■投資料の無断転写、転載は出来ません。当資料の第三者への提供は固くお断りいたします